

# 届出

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

九州看護福祉大学 看護福祉学部  
鍼灸スポーツ学科・口腔保健学科

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 熊本城北学園  
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名 総務課長 田上<sup>タノウエ</sup> 康樹<sup>コウキ</sup>

電話番号 0968-75-1800

(夜間) 0968-75-1800

F A X 0968-75-1811

e-mail office@kyushu-ns.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

## 目 次

1	調査対象学校等の概要等	1
2	授業科目の概要	6
	看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科	6
	口腔保健学科	11
3	施設・設備の整備状況, 経費	15
4	既設大学等の状況	16
5	教員組織の状況	17
	看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科	17
	口腔保健学科	23
6	留意事項に対する履行状況等	29
7	その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 熊本城北学園

## (2) 大学名

九州看護福祉大学

## (3) 大学の位置

〒865-0062  
熊本県玉名市富尾888番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フツツカ マコト) 二塚 信 (平成19年4月)		
学長	(フツツカ マコト) 二塚 信 (平成17年4月)		
学部長	[該当なし]		
鍼灸スポーツ 学科長	(ナカイ サチコ) 中井 さち子 (平成22年4月)		
口腔保健 学科長	(トクナガ ジュンヤ) 徳永 淳也 (平成22年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例)平成19年度に報告済の内容 (19)

平成22年度に報告する内容 (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は，平成19年度開設の4年制の学科の場合（平成22年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護福祉学部	年	人	年次人	人	
鍼灸スポーツ学科 学士（鍼灸スポーツ学）	4	40		160	
口腔保健学科 学士（口腔保健学）	4	50		200	

- (注)・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

(看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

区分	対象年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	人	人		
A	入学定員	( - ) 40	( )	( )	( )	0.92倍	
	志願者数	( - ) 48	( )	( )	( )		
	受験者数	( - ) 48	( )	( )	( )		
	合格者数	( - ) 48	( )	( )	( )		
B	入学者数	( - ) 37	( )	( )	( )		
	入学定員超過率 B/A	( - ) 0.92	( )	( )	( )		

(看護福祉学部 口腔保健学科)

区分	対象年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	人	人		
A	入学定員	( ) 50	( )	( )	( )	0.68倍	
	志願者数	( ) 49	( )	( )	( )		
	受験者数	( ) 47	( )	( )	( )		
	合格者数	( ) 47	( )	( )	( )		
B	入学者数	( ) 34	( )	( )	( )		
	入学定員超過率 B/A	( ) 0.68	( )	( )	( )		

- (注)・ ( )内には，編入学の状況について外数で記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には，平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19～21年度」には，確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

(看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

学年	対象年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考
1年次		[ 37 ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次			[ ]	[ ]	[ ]	
3年次				[ ]	[ ]	
4年次					[ ]	
計		[ 37 ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(看護福祉学部 口腔保健学科)

学年	対象年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考
1年次		[ 34 ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次			[ ]	[ ]	[ ]	
3年次				[ ]	[ ]	
4年次					[ ]	
計		[ 34 ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注)・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

( 5 ) - 調査対象学部等の退学者等の状況

(看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

区分 対象年度	退学者数 ( a )	入学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成 2 2 年度	計 [ 0 人 ]	( 累積 ) 計 [ 3 7 人 ]	[ 0 % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 0 人	うち平成 2 2 年度 3 7 人	0 %
	( 主な退学理由 )		
平成 2 3 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	%
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	( 主な退学理由 )		
平成 2 4 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	%
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	うち平成 2 4 年度 人	
	( 主な退学理由 )		
平成 2 5 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	%
	うち平成 2 3 年度入学者 人	平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	平成 2 4 年度 人	
	うち平成 2 5 年度入学者 人	平成 2 5 年度 人	
( 主な退学理由 )			

(看護福祉学部 口腔保健学科)

区分 対象年度	退学者数 ( a )	入学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成 2 2 年度	計 [ 0 人 ]	( 累積 ) 計 [ 3 4 人 ]	[ 0 % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 0 人	うち平成 2 2 年度 3 4 人	0 %
	( 主な退学理由 )		
平成 2 3 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	%
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	( 主な退学理由 )		
平成 2 4 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	%
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	うち平成 2 4 年度 人	
	( 主な退学理由 )		
平成 2 5 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ % ]
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	%
	うち平成 2 3 年度入学者 人	平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	平成 2 4 年度 人	
	うち平成 2 5 年度入学者 人	平成 2 5 年度 人	
( 主な退学理由 )			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
基 礎 分 野	文学	1 前		2									
	心理学	1 前		2									
	心理学	1 後		2									
	スポーツ心理学	1 後		2									
	法学	1 前		2		1							
	法学 (日本国憲法)	1 後		2		1							
	社会学	1 前		2									
	社会学	1 後		2									
	スポーツ社会学	1 後		2									
	教育学	1 前		2									
	発達心理学	1 前		2									
	哲学	1 後		2									
	経済学	1 前		2									
	コミュニケーション論	2 前	2										
	カウンセリング論	1 後		2									
	体育原理	1 前		2								教職科目からの科目区分変更に伴う追加 (22) 担当：山下和彦(非常勤講師)	
	比較文化論	1 前 1 後		2								他学科の同一科目と履修時期を統一するた め、配当学期を変更(22)	
	体育	1 後 1 前		2		1						他学科の同一科目と履修時期を統一するた め、配当学期を変更(22)	
	こ と ば と 文 化	英語	1 前	2									
		英語 (医療英語)	1 後	2									
英会話		1 前		2									
英会話		1 後		2									
中国語会話		1 前		2									
韓国語会話		1 後		2									
ドイツ語		1 後		2									
障害者言語 (点字)		1 前		2									
障害者言語 (手話)		1 後		2									
科 学 的 思 考 の 基 盤		基礎生物学	1 前		2								
		公衆衛生学	2 前	2									
		環境衛生学	2 後		2								
		生命倫理	1 前	2									
		人間工学	1 後		2								
	トレーニング科学	1 後		2		1							
	情報リテラシー	1 前	2										
	情報リテラシー	1 後	2										
専 門 基 礎 分 野	解剖学	1 前	2			1							
	解剖学	1 後	2			1							
	解剖学 (講義・演習)	2 前	2			2 4						科目担当者の変更(22)	
	生理学	1 前	2			1						科目担当者の変更(22)	
	生理学	1 後	2			1						科目担当者の変更(22)	
	生理学 (講義・演習)	2 前	2			2 4						科目担当者の変更(22)	
	医用工学	1 後		2									
	スポーツ医学概論	2 前		2									
	運動学	2 前		2		1						教職科目からの科目区分変更に伴う追加 (22) 担当：山下忍(教授)	
	バイオメカニクス	3 前		2									
運動生理学	2 後		2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎分野	医学概論	1後	2			1					科目担当者の変更(22)
	病理学	2前	2			1					科目担当者の変更(22)
	臨床医学総論	1後	2			1					科目担当者の変更(22)
	臨床医学総論	2前	2			1					科目担当者の変更(22)
	臨床医学各論 (呼吸器・循環器系)	2前	2								
	臨床医学各論 (消化器系・泌尿器系)	2後	2								
	臨床医学各論 (整形外科)	2後	2								
	臨床医学各論 (スポーツ障害)	3前	2								
	臨床医学各論 (皮膚・免疫系)	3前	2								
	臨床医学各論 (脳神経疾患・婦人科系疾患)	3後	2								
	リハビリテーション概論	2前	2					4			科目担当者の変更(22)
	リハビリテーション医学	2後	2								
	薬理学	2後		2							
	医事法規	2後	2			1					
	保健福祉論	2後		2							
社会保障論	3前		2								
地域保健論	2前		2								
学校保健	2前		2							教職科目からの科目区分変更に伴う追加(22) 担当: 古賀由紀子(講師)	
精神保健	2前 2後		2							他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)	
健康相談論	2後 2前		2							他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)	
救急処置法	2前		2								
専門分野	基礎はりきゅう学	東洋医学概論	1前	2			1				
	東洋医学概論	1後	2			1					
	東洋医学概論	2後	2			1					
	鍼灸基礎理論	1後	2			1					
	経絡経穴学概論	1前	2				1	1			科目担当者の変更(22)
	経絡経穴学概論	2前	2			4	1	1			科目担当者の変更(22)
	臨床はりきゅう学	東洋医学臨床論	2前	2			1	1			科目担当者の変更(22)
	東洋医学臨床論	2後	2			1	1				科目担当者の変更(22)
	鍼灸安全管理学	3前	2					1			
	はりきゅう理論	2後	2					1	4		科目担当者の変更(22)
	はりきゅう理論	3前	2			1			1		
	鍼灸医学総合演習	3後	2					1			
	社会鍼灸学	社会鍼灸学	3後	2				1			
	社会鍼灸学演習(施設見学を含む)	3後		2		1	1	2	2		科目名称変更及び担当者変更(22)
	社会鍼灸学演習					2		1	1		
実習(臨床実習含む)	臨床コミュニケーション	4前	2				4	1	2	4	科目担当者の変更(22)
	はり基礎実習	1後	2				1		2	4	科目担当者の変更(22)
	はり基礎実習	2前	2			4	1		2	4	科目担当者の変更(22)
	きゅう基礎実習	1後	2					1	2	4	科目担当者の変更(22)
	きゅう基礎実習	2前	2			1			2	4	科目担当者の変更(22)
	鍼灸臨床実習(内科系)	2後	2			1	2	2	2	4	科目担当者の変更(22)
	鍼灸臨床実習(外科系)	3前	2			1	2	2	2	4	科目担当者の変更(22)
	鍼灸臨床実習(スポーツ鍼灸)	3後	2			1	2	2	2	4	科目担当者の変更(22)
	鍼灸治療所実習	3後	2			1	2	2	2	4	科目担当者の変更(22)
	鍼灸治療所実習	4前	2			1	2	2	2	4	科目担当者の変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 分 野	武道（柔道）	1前		1							教職免許(高等学校教諭一種免許・保健体育)のため科目区分変更(22) IPLC' ッグ 概論・IPLC' ッグ 実習については、自由選択科目から総合領域充実のために科目区分変更(22)
	武道（剣道）	1前		1		1					
	ダンス（エアロビクスを含む）	1後		1							
	水泳（アクアビクスを含む）	1前		1							
	陸上競技（ジョギング・ウォーキングを含む）	1後		1							
	体操（器械体操を含む）	2前		1							
	バレー・バスケット	2後		1							
	ラグビー・サッカー	3前		1							
	エアロビッギ概論	4前		1							
	エアロビッギ実習	4前		1							
	臨床心理学	2後		2							
	看護学概論	1前		2							
	社会福祉原論	1前		2							
	生活支援論	1後		2		1					
	生活支援論演習	4前		2		1					
	発育発達論	2後		2							
	生活栄養学（スポーツ栄養学）	1前		2						科目名称変更及び開講時機の調整(22)	
	生活栄養学	1後		2							
	トレーニング論	3前 2前		2		1				学習効果を考慮して開講年度変更(22)	
	スポーツ指導論	3後 2後		1		1				学習効果を考慮して開講年度変更(22)	
	コーチング論	3前		2		1				教職科目充実のため科目区分変更(22)	
	メンタルマネジメント論	3後 2後		1						学習効果を考慮して開講年度変更(22)	
	スポーツ経営学	2後		2							
	健康管理とスポーツ医学	2後		2							
	身体の測定・評価	2前		2							
	スポーツ障害の評価	2後		2			1	1		科目担当者の変更(22)	
スポーツコンディショニング概論	3前 2前		2			1			学習効果を考慮して開講年度変更及び科目担当者の変更(22)		
スポーツ栄養学	3前		2						科目名称変更及び学習効果を考慮して開講年度変更(22)		
スポーツ栄養学	2前		2								
研究方法論	3前	2			4	2	2	1			
卒業研究	4前	2			4	2	2	1			
卒業研究論文	4通		4		4	2	2				
自 由 選 択 科 目	アスレティックトレーナー概論	1前		2		1				科目担当者の変更(22)	
	アスレティックリハビリテーション論	3前		2							
	アスレティックリハビリテーション	3前		2							
	アスレティックリハビリテーション	3後		2							
	コーチング論	2前		2						専門分野総合領域へ移動のため削除(22)	
	スポーツコンディショニング	2後		2		1				科目担当者の変更(22)	
	テーピングコンディショニング	2後		2							
	健康教育概論	1後		2		1				資格取得のため科目追加(22) 担当：古賀由紀子（講師） 平崎和雄（准教授）	
	運動器の解剖と機能	2前		2		1				資格取得のため科目追加(22) 担当：平崎和雄（准教授）	
	運動器の解剖と機能	2後		2		1				資格取得のため科目追加(22) 担当：平崎和雄（准教授）	
	アスレティックトレーナー専門実習	3前		1		1				科目担当者の変更(22)	
	アスレティックトレーナー専門実習	3前		1		1				科目担当者の変更(22)	
	アスレティックトレーナー専門実習	3後		1		1				科目担当者の変更(22)	
	アスレティックトレーナー専門実習	3後		1		1				科目担当者の変更(22)	
	アスレティックトレーナー専門実習	4前		1		1				科目担当者の変更(22)	
	アスレティックトレーナー専門実習	4後		1		1				科目担当者の変更(22)	
	エアロビッギ概論	4前		4						専門分野総合領域へ移動のため削除(22)	
エアロビッギ実習	4前		4						専門分野総合領域へ移動のため削除(22)		

(注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・届出時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載いただき，平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
51	56	15	122	51 [0]	70 [14]	15 [0]	136 [14]	

(注)・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[ ]内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合： 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{122} = 0$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<看護福祉学部 口腔保健学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	文学	1前		2									
	心理学Ⅰ	1前		2									
	心理学Ⅱ	1後		2									
	法学Ⅰ	1前		2									
	法学Ⅱ(日本国憲法)	1後		2									
	社会学Ⅰ	1前		2									
	社会学Ⅱ	1後		2									
	教育学	1前		2									
	発達心理学	1前		2									
	哲学	1後		2		1							
	経済学	1前		2									
	倫理学	1後		2		1							
	コミュニケーション論	2前	2										
	ボランティア論	1前		2									
	比較文化論	1前 1後		2		1						他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)	
	カウンセリング論	1後	2										
	体育	1後 1前		2								他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)	
	ことばと文化	英語Ⅰ	1前	2									
		英語Ⅱ(医療英語)	1後		2								
		英会話Ⅰ	1前	2									
		英会話Ⅱ	1後		2								
		中国語会話	1前		2								
		韓国語会話	1後		2								
		ドイツ語	1後		2		1						
		障害者言語Ⅰ(点字)	1前		2								
		障害者言語Ⅱ(手話)	1後		2								
		科学的思考の基盤	基礎生物学	1前		2							
	公衆衛生学		2前	2			1						
環境衛生学	2後			2									
生命倫理	1前		2										
人間工学	1後			2									
情報リテラシーⅠ	1前		2										
情報リテラシーⅡ	1後		2										
専門基礎分野	人体の構造と機能		解剖生理学Ⅰ	1前	2								
	解剖生理学Ⅱ	1後	2										
	解剖生理学Ⅲ	2前		2									
	生化学	1前	2										
	医用工学	1後		2									
	生活栄養学	1後	2										
	バイオメカニクス	3前		2									
	運動生理学	1後		2									
	構造・口腔機能の	口腔解剖学	1後	2									
	口腔組織発生学	1後	1										
	口腔生理学	1後	1										
	口腔生化学	1後	1										
	疾病の成り立ち及び 回復過程の促進	病態生理学Ⅰ	1後 1前	2									他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
		病態生理学Ⅱ	2前 1後		2								他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当年次を変更(22)
		病態生理学Ⅲ	2後 2前		2								他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数					専任教員等の配置					備 考						
			必	修	選	択	自	由	教	授	准	教		授	講	師	助	教	助
専門基礎分野	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	口腔病理学	2前	1															
		感染症学	2前	2															
		口腔微生物学	2前	1					1	1									
		薬理学	2前	2															
		リハビリテーション概論	2前		2														
		リハビリテーション医学	2後		2														
	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み	医事法規	2後		2														
		医療福祉論 I	3前		2														
		保健社会論	2前		2														
		地域保健論	2後		2														
		精神保健 I	2後		2														
		健康相談論	2後		2														
		学校保健	2前		2														
		救急処置法	2前		2														
		口腔保健衛生学	1後	2						1									
		口腔保健統計学	2前	1					1										
		地域歯科衛生学	2後	1					1	1									
		保健福祉行政論	2前		2														
		保健福祉論	2後		2														
		国際保健論	4前		2														
疫学	2後		2																
保健統計学	2前		2																
専門分野	概論	歯科衛生学概論	1前	2					1	2									
	臨床歯科医学	臨床歯科医学概論	1前	2					1										
		歯科保存学	2前	2					1										
		歯周病治療学	2後	2					1										
		歯科補綴学	2前	2					1										
		顎口腔外科学	2前	2															
		歯科麻酔学	2前	1															
		発達矯正歯科学	2前	2					1										
		発達歯科学 I (小児)	2前	2						1	1								
		発達歯科学 II (障害者)	2後	1															
	発達歯科学 III (高齢者)	2後	1					1											
	歯科予防処置論	口腔疾患予防学	2前	2						1									
		口腔疾患予防学演習 I (基礎技術)	2後	2						1	2	2							
		口腔疾患予防学演習 II (う蝕予防)	2後	2						1	2	2							
		口腔疾患予防学演習 III (歯周病予防)	3前	2						1	2	2							
	歯科保健指導論	口腔介護概論	2後	1						1									
		顎口腔機能リハビリテーション演習	3前	2						1	2	2							
		在宅歯科衛生管理論	3前	1							1								
		口腔保健指導論	2後	2						1	2								
		食生活指導	3前	2						1	2	2							
		地域口腔保健学演習	3前	2						1	2	2							
		歯科医療管理学	4前	1					1										
	歯科診療補助論	歯科診療補助論 I (総論)	2前	1							1								
		歯科診療補助論 II (各論)	2後	2							1								
		歯科診療補助演習 I (基礎技術)	2後	2						1	2	2							
		歯科診療補助演習 II (臨床技術)	3前	2						1	2	2							
		歯科生体材料学	2後	2					1										
		歯科医療安全学	2前	1						1	2	2							
	臨地実習	口腔保健臨床実習 I (早期臨床実習)	1後	1						1	2	2							
		口腔保健臨床実習 II (基礎実習)	2後	2						1	2	2							
		口腔保健臨床実習 III (歯科診療所)	3後	8						1	2	2							
		口腔保健臨床実習 IV (病院)	3後	6						1	2	2							
		地域支援臨地実習	3後	1						1	2	2							
発達支援臨地実習 I (障害児者)		4前	1						1	2	2								
発達支援臨地実習 II (高齢者)		4前	1						1	2	2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択必修分野	臨床心理学	2後		2								
	障害児心理学	2前		2								
	こころのしくみの理解	1前		2								
	産業カウンセリング論Ⅰ	2前		2								
	社会福祉原論Ⅰ	1前		2								
	社会福祉原論Ⅱ	1後		2								
	看護学概論	1前	2									
	介護概論	2前	2									
	生活支援論	1後		2								
	生活支援論演習	4前		2								
	発育発達論	2後		2								
	地域福祉論Ⅰ	4前		2								
	地域福祉論Ⅱ	4後		2								
	社会保障論Ⅰ	4前		2								
	社会保障論Ⅱ	4後		2								
	老人福祉論Ⅰ	2前		2								
	障害者福祉論Ⅰ	2前		2								
	児童福祉論Ⅰ	2前		2								
	公的扶助論	2前		2								
	介護保険論	3前		2								
	福祉法学Ⅱ	2後		2								
	国際保健活動論	4前		2								
	社会調査法	4前	2			1						
卒業研究	4前		2		4	2	2					
卒業研究論文	4前		4		4	2	2					

- (注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・届出時の授業科目全て(兼任,兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき,届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
・「配当年次」について,届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても,届出時の状況を黒字で記載いただき,平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
63	67	0	130	63	67	0	130	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・未開講である場合や,配当年次に関わらず,教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など,別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに,[ ]内に,届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{130} = 0$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	20,649.36㎡ 18,651.49㎡ ( )	㎡ ( )	㎡ ( )	20,649.36㎡ 18,651.49㎡ ( )	( )書は借用面積 借用地は全て 借用期間 平成8年7月から 30年間 貸与者 玉名市			
	運動場用地	21,832.58㎡ 23,184.38㎡ (17,290.68㎡)	㎡ ( )	㎡ ( )	21,832.58㎡ 23,184.38㎡ (17,290.68㎡)				
	小 計	42,481.94㎡ 41,835.87㎡ (17,290.68㎡)	㎡ ( )	㎡ ( )	42,481.94㎡ 41,835.87㎡ (17,290.68㎡)	新校舎等の建設に伴う変更(22)			
	そ の 他	88,193.06㎡ 88,839.43㎡ (51,906.32㎡) (51,641.32㎡)	㎡ ( )	㎡ ( )	88,193.06㎡ 88,839.43㎡ (51,906.32㎡) (51,641.32㎡)				
	合 計	130,675.00㎡ (69,197.00㎡)	㎡ ( )	㎡ ( )	130,675.00㎡ (69,197.00㎡)				
(2) 校 舎	専 用	21,695.33㎡ 21,714.42㎡ (21,695.33㎡) (21,714.42㎡)	㎡ ( )	㎡ ( )	21,695.33㎡ 21,714.42㎡ (21,695.33㎡) (21,714.42㎡)	大学全体 (4,380.91㎡ 4,400.00㎡)新築 平成22年3月完成 登記面積による減(22) ( )書は開設時			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	30室	演 習 室 5室 (セミナー18室)	実験実習室 26室	情報処理学習施設 4室 (補助職員0人)	語学学習施設 0室 (補助職員0人)	大学全体		
	専任教員研究室	新設学部等の名称 看護福祉学部 口腔保健学科 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科		室 数 7(1) 8(1)		教授、准教授、講師は個室、助教は数名での共同研究室 ( )書は共同研究室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	看護福祉学部	48,437 9,806 47,445 (9,783) (47,445 (9,783))	394 112 366 [102] (366 [102])	8 8 3 [3] (3 [3])	1,053 1,042 (1,053) (1,042)	1,611 (1,611)	303 (303)		
	計	48,437 9,806 47,445 (9,783) (47,445 (9,783))	394 112 366 [102] (366 [102])	8 8 3 [3] (3 [3])	1,053 1,042 (1,053) (1,042)	1,611 (1,611)	303 (303)	( )書は開設時	
(6) 図 書 館	面 積	1,086.00㎡		閲覧座席数	155席		収納可能冊数	92,611冊	
	面 積	1,367.02㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要			多目的グラウンド1面 テニスコート1面		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等 ...教授60万,准教授・講師 50万,助教40万を教員数 で按分。 教員変更に伴い再計算 (22)	
	経費の見積り	教員1人 当り研究 費等	口腔保健学科 520千円 鍼灸スポーツ学科 511千円 560千円	520千円 533千円	図書購入費	18,699千円 19,455千円	8,266千円 8,640千円	8,640千円	
	維持方法の概要	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	167,660千円 156,765千円	千円	千円	図書購入費 ...大学全体。運用コスト 含む。既存学科の予算執行 残による減額(22)
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	口腔保健学科	1,065千円	865千円	865千円	865千円	千円	千円	設置購入費 アスレチック・レーナ-養成課程 のトレーニング機器による増 額(22)	
	鍼灸スポーツ学 科	1,455千円	1,255千円	1,255千円	1,255千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等							

(注)・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。  
 ・「(3)教室等」「(5)図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。  
 届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え直し修正してください。  
 ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。  
 ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において見え消しした部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	九州看護福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
看護福祉学部						1.01		熊本県玉名市 富尾888番地	平成22年度より入学定 員減 200 110( 90)
看護学科	4	100		400	学士 (看護学)	1.43	平成10年度		
社会福祉学科	4	110 200		710 800	学士 (社会福祉学)	0.76	平成10年度		
リハビリテーション学科	4	60		240	学士 (理学療法学)	1.30	平成18年度		
鍼灸師学科	4	40		40	学士 (鍼灸師学科)	0.93	平成22年度		
口腔保健学科	4	50		50	学士 (口腔保健学)	0.68	平成22年度		
看護福祉学研究科						0.56			
看護学専攻	2	12		24	修士 (看護学)	0.62	平成15年度		
精神保健学専攻	2	12		24	修士 (精神保健学)	0.50	平成17年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	中井さち子 (61)	平成22年4月	鍼灸基礎理論 はりきゅう理論 社会鍼灸学演習 きゅう基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾊﾞｰｼﾞ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文							
専	教授	吉塚亮一 (47)	平成22年4月	経絡経穴学概論 社会鍼灸学演習 はり基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾊﾞｰｼﾞ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	専	准教授	藤木 実 (60)	平成23年4月	経絡経穴学概論 経絡経穴学概論 東洋医学臨床論 東洋医学臨床論 社会鍼灸学 社会鍼灸学演習 はり基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾊﾞｰｼﾞ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)	
専	教授	山下 忍 (58)	平成22年4月	体育 トレーニング科学 解剖学 解剖学 解剖学(講義・演習) 生理学(講義・演習) 運動生理学 トレーニング論 スポーツ指導論 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文							
									運動学 武道(剣道)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)	
専	教授	野崎和義 (56)	平成22年4月	法学 法学(日本国憲法) 医事法規 生活支援論 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文							
専	准教授	野口恭庸 (46)	平成22年4月	東洋医学概論 東洋医学概論 東洋医学概論 はり基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾊﾞｰｼﾞ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文							

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	井上晴豪(41)	平成22年4月	東洋医学臨床論— 東洋医学臨床論— 社会鍼灸学 臨床コミュニケーション 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文		助教			社会鍼灸学演習 はり基礎実習 はり基礎実習 きゅう基礎実習 きゅう基礎実習	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による担当科目及び職名の変更「東洋医学臨床論」、「東洋医学臨床論」、「社会鍼灸学」、「研究方法論」、「卒業研究」、「卒業研究論文」は、他に専任教員がいるため支障はない。(22)
専	講師	宮崎彰吾(36)	平成22年4月	経絡経穴学概論 鍼灸安全管理学 きゅう基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 スポーツ障害の評価 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	専	講師	村上高康(32)	平成22年4月	経絡経穴学概論 経絡経穴学概論 東洋医学臨床論 東洋医学臨床論 鍼灸安全管理学 社会鍼灸学演習 臨床コミュニケーション 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
					専	講師	田口太郎(43)	平成22年4月	きゅう基礎実習	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
					兼任	講師	常盤直孝(43)	平成22年4月	スポーツ障害の評価	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
専	講師	川口 顕(49)	平成22年4月	解剖学(講義・演習) 生理学(講義・演習)	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	解剖学(講義・演習) 生理学(講義・演習)	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
				リハビリテーション概論	兼任	教授	川俣幹雄(54)	平成23年4月	リハビリテーション概論	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
				鍼灸医学総合演習 社会鍼灸学演習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	専	講師	田口太郎(43)	平成22年4月	鍼灸医学総合演習 社会鍼灸学演習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
専	助教	星 慎一郎(35)	平成23年4月	はりきゅう理論	専	講師	田口太郎(43)	平成22年4月	はりきゅう理論	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
				はりきゅう理論 社会鍼灸学演習 臨床コミュニケーション はり基礎実習 はり基礎実習 きゅう基礎実習 きゅう基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習	専	助教	浅井福太郎(27)	平成22年4月	はりきゅう理論 社会鍼灸学演習 臨床コミュニケーション はり基礎実習 はり基礎実習 きゅう基礎実習 きゅう基礎実習 鍼灸臨床実習(内科系) 鍼灸臨床実習(外科系) 鍼灸臨床実習(ｽﾎｰﾂ鍼灸) 鍼灸治療所実習 鍼灸治療所実習	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	二塚 信 (70)	平成22年4月	保健福祉論 生活支援論						
兼任	教授	志賀 潔 (68)	平成22年4月	生理学 生理学 生理学 (講義・演習)						
兼任	教授	生野繁子 (53)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	教授	柴田恵子 (48)	平成22年4月	生命倫理 看護学概論						
兼任	教授	樋口マキエ (65)	平成22年4月	医用工学 病理学 薬理学						
兼任	教授	吉光 清 (61)	平成22年4月	心理学 心理学 生活支援論						
兼任	教授	熱田一信 (68)	平成22年4月	発達心理学 カウンセリング論 精神保健 臨床心理学						
兼任	教授	安藤 学 (56)	平成22年4月	社会学 社会学						
兼任	教授	佐藤林正 (61)	平成23年4月	地域保健論						
兼任	教授	西島衛治 (59)	平成22年4月	人間工学						
兼任	教授	水野裕重 (61)	平成22年4月	情報リテラシー 情報リテラシー						
兼任	教授	森 信之 (48)	平成22年4月	情報リテラシー 情報リテラシー						
兼任	教授	山本 務 (61)	平成22年4月	哲学 比較文化論 ドイツ語						
兼任	教授	濱田輝一 (56)	平成22年4月	生活支援論 身体の測定・評価						
兼任	教授	加藤 浩 (41)	平成23年4月	バイオメカニクス リハビリテーション医学						
兼任	教授	川俣幹雄 (54)	平成23年4月	リハビリテーション医学 生活支援論演習						
兼任	教授	肥後成美 (56)	平成23年4月	臨床医学各論 (脳神経疾患・婦人科系疾患) リハビリテーション医学						
兼任	准教授	AJガ' -ラント' (56)	平成22年4月	比較文化論 英会話 英会話						
兼任	准教授	久佐賀真理 (52)	平成22年4月	生活支援論 生活支援論演習						
兼任	准教授	齋田和孝 (47)	平成22年4月	医学概論 病理学	専	教授			生理学 生理学 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による変更(兼任 専任)、担当科目追加 及び 平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	福本久美子 (56)	平成22年4月	生活支援論 生活支援論演習		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	李 玄玉 (49)	平成22年4月	韓国語会話						
兼任	准教授	金 蘭九 (58)	平成22年4月	比較文化論		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	山本孝司 (39)	平成22年4月	文学 教育学						
兼任	准教授	大池貴之 (38)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	准教授	永崎孝之 (47)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	川本起久子 (48)	平成22年4月	生命倫理						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	上妻尚子(47)	平成22年4月	看護学概論						
兼任	講師	藤田美貴(45)	平成22年4月	看護学概論	兼任	助教	伊藤美恵子(49)	平成22年4月	看護学概論	平成22年3月退職にともなう担当者変更(22)
兼任	講師	古賀由紀子(51)	平成23年4月	健康相談論 救急処置法					学校保健	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
									健康教育概論	アスレティックトレーナー科目として追加(22)
兼任	講師	姫野建二(57)	平成22年4月	社会福祉原論						
兼任	講師	真殿仁美(34)	平成22年4月	比較文化論 中国語会話						
兼任	講師	水上幸代(48)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	講師	吉岡久美(48)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	講師	浅海靖恵(42)	平成23年4月	リハビリテーション医学 身体の測定・評価						
兼任	講師	五島佳子(45)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	森下志子(37)	平成23年4月	リハビリテーション医学 身体の測定・評価						
兼任	助教	坂口里美(31)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	助教	中川武子(47)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	助教	福留英明(39)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	助教	吉田勇一(44)	平成23年4月	身体の測定・評価						
兼任	講師	藤原大樹(29)	平成22年4月	スポーツ心理学 発育発達論 メンタルマネジメント論					ラグビー・サッカー	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
兼任	講師	根上 優(62)	平成22年4月	スポーツ社会学						
兼任	講師	中宮光隆(63)	平成22年4月	経済学						
兼任	講師	佐藤嘉倫(37)	平成23年4月	コミュニケーション論						
兼任	講師	江口元子(70)	平成22年4月	英語 英語(医療英語)						
兼任	講師	田上 続(71)	平成22年4月	障害者言語(点字)						
兼任	講師	梶原初子(63)	平成22年4月	障害者言語(手話)						
兼任	講師	木下紘一(69)	平成22年4月	基礎生物学						
兼任	講師	有松徳樹(68)	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	星野輝彦(53)	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	中村直美(67)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	浅井 篤(47)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	山口和宏(35)	平成22年4月	情報リテラシー 情報リテラシー						
兼任	講師	千場梅子(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	橋田昌弘(53)	平成22年4月	医用工学 臨床医学総論	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	臨床医学総論	専任教員として就任したため担当者変更(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	肥合康弘(48)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	富吉勝美(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	荒木不次男(53)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	片渕美和子(55)	平成23年4月	スポーツ医学概論 臨床医学各論(脳神経疾患・婦人科系疾患) 病理学						
兼任	講師	大河原進(60)	平成23年4月	臨床医学総論	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	臨床医学総論	専任教員として就任したため担当者変更(22)
兼任	講師	水本圭彦(45)	平成23年4月	臨床医学各論(整形外科) 臨床医学各論(スポーツ障害)						
兼任	講師	北川慶子(60)	平成24年4月	社会保障論						
兼任	講師	菊池健(58)	平成22年4月	看護学概論						
兼任	講師	中村洋子(60)	平成22年4月	生活栄養学						
兼任	講師	行實鉄平(34)	平成23年4月	スポーツ経営学				平成22年4月	水泳(アクアビクス含む)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
兼任	講師	秋月美和(42)	平成23年4月	健康管理とスポーツ医学						
兼任	講師	常盤直孝(43)	平成22年4月	スポーツコンディショニング概論 アスレティックリハビリテーション論 アスレティックリハビリテーション アスレティックリハビリテーション 身体の測定・評価 テーピングコンディショニング	兼任	講師	坂本大海(33)	平成23年4月	身体の測定・評価 テーピングコンディショニング	負担軽減のため担当者の変更(22)
				アスレティックトレーナー概論 スポーツコンディショニング アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習	専	准教授	平崎和雄(45)	平成22年4月	アスレティックトレーナー概論 スポーツコンディショニング アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習 アスレティックトレーナー専門実習	負担軽減及び専任教員として就任したため担当者変更(22)
兼任	講師	田中真知子(56)	平成23年4月	スポーツ栄養学						
兼任	講師	坂本大海(33)	平成23年4月	コーチング論						
兼任	講師	藤崎道子(42)	平成25年4月	エアロビクス概論 エアロビクス実習						
兼任	講師	田宮貞宏(44)	平成23年4月	臨床医学総論	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	臨床医学総論	専任教員として就任したため担当者変更(22)
兼任	講師	牛島正人(56)	平成23年4月	臨床医学各論(呼吸器・循環器系)						
兼任	講師	古森顕一(53)	平成23年4月	臨床医学各論(呼吸器・循環器系)						
兼任	講師	藤澤章二(59)	平成23年4月	臨床医学各論(消化器系含む泌尿器系)						
兼任	講師	福島英生(59)	平成24年4月	臨床医学各論(皮膚・免疫系)						
					兼任	講師	山下和彦(56)	平成22年4月	体育原理	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
					兼任	講師	内柴正人(31)	平成22年4月	武道(柔道)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
					兼任	講師	柿本真弓(52)	平成22年9月	ダンス(エアロビクス含む) 体操(器械体操を含む)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
					兼任	講師	玉江和義(40)	平成22年4月	陸上競技(ジョギング・ウォーキングを含む)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	福岡 勲(69)	平成23年9月	バレーボール・バスケットボール	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)

(注)・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	2	2	1	9	0	4	3	2	2	11	0	
(4)	(2)	(2)	(2)	(10)	(0)	[0]	[1]	[0]	[1]	[2]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

## (3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	吉塚 亮一	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。
2	講師	宮崎 彰吾	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。
3	講師	川口 顕	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。
4	講師	星 慎一郎	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

## (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>担当予定科目については、後任の専任教員6名が担当することとし、履修上の支障はない。          なお、学生へは、新年度オリエンテーション及びシラバスで変更を周知した。</p>
---

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<看護福祉学部 口腔保健学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	徳永淳也(42)	平成22年4月	公衆衛生学 口腔保健統計学 地域歯科衛生学 歯科医療管理学 社会調査法 卒業研究 卒業研究論文							
専	教授	村上繁樹(64)	平成22年4月	歯科補綴学 発達矯正歯科学 発達歯科学(高齢者) 歯科生体材料学 卒業研究 卒業研究論文				平成23年4月		平成22年度中に本人担当科目が無いため就任時期の調整を行った。(22)	
専	教授	金子憲章(54)	平成22年4月	口腔微生物学 臨床歯科医学概論 歯科保存学 歯周病治療学 卒業研究 卒業研究論文							
専	教授	山本 務(61)	平成22年4月	哲学 倫理学 比較文化論 ドイツ語 卒業研究 卒業研究論文							
専	准教授	北田勝浩(48)	平成22年4月	口腔微生物学 口腔保健衛生学 地域歯科衛生学 発達歯科学(小児) 口腔疾患予防学 卒業研究 卒業研究論文				平成23年4月		平成22年度中に本人担当科目が「口腔保健衛生学」の1科目しかないため就任時期の調整を行った。「口腔保健衛生学」については非常勤講師として開講する(22)	
専	准教授	田中千穂子(60)	平成22年4月	歯科衛生学概論 口腔疾患予防学演習(基礎技術) 口腔疾患予防学演習(う蝕予防) 口腔疾患予防学演習(歯周病予防) 口腔介護概論 顎口腔機能リハビリテーション演習 口腔保健指導論 食生活指導 地域口腔保健学演習 歯科診療補助演習(基礎技術) 歯科診療補助演習(臨床技術) 歯科医療安全学 口腔保健臨床実習(早期臨床実習) 口腔保健臨床実習(基礎実習) 口腔保健臨床実習(歯科診療所) 口腔保健臨床実習(病院) 地域支援臨地実習 発達支援臨地実習(障害(児)者) 発達支援臨地実習(高齢者) 卒業研究 卒業研究論文							

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	筒井 睦 (51)	平成22年4月	歯科衛生学概論 発達歯科学 (小児) □口腔疾患予防学演習 (基礎技術) □口腔疾患予防学演習 (う蝕予防) □口腔疾患予防学演習 (歯周病予防) 顎口腔機能リハビリテーション演習 口腔保健指導論 食生活指導 地域口腔保健学演習 歯科診療補助論 (総論) 歯科診療補助論 (各論) 歯科診療補助演習 (基礎技術) 歯科診療補助演習 (臨床技術) 歯科医療安全学 □口腔保健臨床実習 (早期臨床実習) □口腔保健臨床実習 (基礎実習) □口腔保健臨床実習 (歯科診療所) □口腔保健臨床実習 (病院) 地域支援臨地実習 発達支援臨地実習 (障害(児)者) 発達支援臨地実習 (高齢者) 卒業研究 卒業研究論文						
専	講師	淀川尚子 (46)	平成22年4月	歯科衛生学概論 □口腔疾患予防学演習 (基礎技術) □口腔疾患予防学演習 (う蝕予防) □口腔疾患予防学演習 (歯周病予防) 顎口腔機能リハビリテーション演習 在宅歯科衛生管理論 口腔保健指導論 食生活指導 地域口腔保健学演習 歯科診療補助演習 (基礎技術) 歯科診療補助演習 (臨床技術) 歯科医療安全学 □口腔保健臨床実習 (早期臨床実習) □口腔保健臨床実習 (基礎実習) □口腔保健臨床実習 (歯科診療所) □口腔保健臨床実習 (病院) 地域支援臨地実習 発達支援臨地実習 (障害(児)者) 発達支援臨地実習 (高齢者) 卒業研究 卒業研究論文						
専	助教	泉 繭依 (31)	平成22年4月	□口腔疾患予防学演習 (基礎技術) □口腔疾患予防学演習 (う蝕予防) □口腔疾患予防学演習 (歯周病予防) 顎口腔機能リハビリテーション演習 食生活指導 地域口腔保健学演習 歯科診療補助演習 (基礎技術) 歯科診療補助演習 (臨床技術) 歯科医療安全学 □口腔保健臨床実習 (早期臨床実習) □口腔保健臨床実習 (基礎実習) □口腔保健臨床実習 (歯科診療所) □口腔保健臨床実習 (病院) 地域支援臨地実習 発達支援臨地実習 (障害(児)者) 発達支援臨地実習 (高齢者)						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	牛嶋文(28)	平成22年4月	口腔疾患予防学演習(基礎技術) 口腔疾患予防学演習(う蝕予防) 口腔疾患予防学演習(歯周病予防) 顎口腔機能リハビリテーション演習 食生活指導 地域口腔保健学演習 歯科診療補助演習(基礎技術) 歯科診療補助演習(臨床技術) 歯科医療安全学 口腔保健臨床実習(早期臨床実習) 口腔保健臨床実習(基礎実習) 口腔保健臨床実習(歯科診療所) 口腔保健臨床実習(病院) 地域支援臨地実習 発達支援臨地実習(障害(児)者) 発達支援臨地実習(高齢者)						
兼任	教授	二塚信(70)	平成22年4月	保健福祉行政論 保健福祉論 生活支援論						
兼任	教授	志賀潔(68)	平成22年4月	解剖生理学 解剖生理学 解剖生理学 生化学						
兼任	教授	生野繁子(53)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	教授	柴田恵子(48)	平成22年4月	生命倫理 看護学概論						
兼任	教授	樋口マキエ(65)	平成22年4月	生化学 医用工学 病態生理学 薬理学 感染症学						
兼任	教授	吉光清(61)	平成22年4月	心理学 心理学 産業カウンセリング論 生活支援論						
兼任	教授	熱田一信(68)	平成22年4月	発達心理学 カウンセリング論 精神保健 臨床心理学						
兼任	教授	安藤学(56)	平成22年4月	社会学 社会学 社会調査法						
兼任	教授	佐藤林正(61)	平成23年4月	保健社会論 地域保健論 社会調査法 地域福祉論 地域福祉論 介護保険論						
兼任	教授	西島衛治(59)	平成22年4月	ボランティア論 人間工学						
兼任	教授	水野裕重(61)	平成22年4月	情報リテラシー 情報リテラシー						
兼任	教授	森信之(48)	平成22年4月	情報リテラシー 情報リテラシー 保健統計学						
兼任	教授	濱田輝一(56)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	教授	加藤浩(41)	平成23年4月	バイオメカニクス リハビリテーション医学						
兼任	教授	川俣幹雄(54)	平成23年4月	リハビリテーション医学 生活支援論演習						
兼任	教授	肥後成美(56)	平成22年4月	病態生理学 リハビリテーション医学						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	野崎和義(56)	平成22年4月	法学 法学(日本国憲法) 医事法規 生活支援論 福祉法学						
兼任	教授	山下忍(58)	平成22年4月	体育 解剖生理学 解剖生理学 解剖生理学 運動生理学						
兼任	准教授	AJリッポ(56)	平成22年4月	比較文化論 英会話 英会話						
兼任	准教授	久佐賀真理(52)	平成22年4月	生活支援論 生活支援論演習						
兼任	准教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	病態生理学 病態生理学 病態生理学 感染症学		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	福本久美子(56)	平成22年4月	生活支援論 生活支援論演習		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	森みずえ(52)	平成23年4月	感染症学	兼任	講師				平成22年3月退職 非常勤講師として担当(22)
兼任	准教授	李玄玉(49)	平成22年4月	韓国語会話						
兼任	准教授	金蘭九(58)	平成22年4月	比較文化論 障害者福祉論		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	徳永恵美子(54)	平成23年4月	介護概論						
兼任	准教授	上石隆雄(60)	平成23年4月	児童福祉論						
兼任	准教授	後藤秀昭(54)	平成23年4月	医療福祉論 老人福祉論						
兼任	准教授	永田俊明(51)	平成22年4月	こころのしくみの理解						
兼任	准教授	山本孝司(39)	平成22年4月	文学 教育学						
兼任	准教授	大池貴之(38)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	准教授	永崎孝之(47)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	川本起久子(48)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	上妻尚子(47)	平成22年4月	看護学概論						
兼任	講師	藤田美貴(45)	平成22年4月	看護学概論	兼任	助教	伊藤美恵子(49)	平成22年4月	看護学概論	平成22年3月退職にともなう 担当者変更(22)
兼任	講師	河谷はるみ(37)	平成23年4月	公的扶助論						
兼任	講師	古賀由紀子(51)	平成23年4月	健康相談論 学校保健 救急処置法	専			平成22年4月		教職科目(養護)の教育効果の 向上のため専任として異動 社会福祉学科 口腔保健学科 (22)
兼任	講師	姫野建二(57)	平成22年4月	社会福祉原論 社会福祉原論						
兼任	講師	真殿仁美(34)	平成22年4月	比較文化論 中国語会話 障害者福祉論						
兼任	講師	水上幸代(48)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	講師	水間宗幸(38)	平成23年4月	障害児心理学						
兼任	講師	吉岡久美(48)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	講師	浅海靖恵(42)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	五島佳子(45)	平成23年4月	リハビリテーション医学						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	森下志子(37)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	助教	坂口里美(31)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	助教	中川武子(47)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	講師	隈直子(39)	平成23年4月	公的扶助論						
兼任	助教	福留英明(39)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	助教	川口顕(49)	平成23年4月	リハビリテーション概論						
兼任	講師	中宮光隆(63)	平成22年4月	経済学						
兼任	講師	佐藤嘉倫(37)	平成23年4月	コミュニケーション論						
兼任	講師	川原英照(57)	平成22年4月	ボランティア論						
兼任	講師	宮田喜代志(51)	平成22年4月	ボランティア論						
兼任	講師	江口元子(70)	平成22年4月	英語 英語(医療英語)						
兼任	講師	田上 統(71)	平成22年4月	障害者言語(点字)						
兼任	講師	梶原初子(63)	平成22年4月	障害者言語(手話)						
兼任	講師	木下紘一(69)	平成22年4月	基礎生物学						
兼任	講師	星野輝彦(53)	平成23年4月	環境衛生学						
兼任	講師	中村直美(67)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	浅井 篤(47)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	山口和宏(35)	平成22年4月	情報リテラシー 情報リテラシー						
兼任	講師	千場梅子(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	橋田昌弘(53)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	肥合康弘(48)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	富吉勝美(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	荒木不次男(53)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	中村洋子(60)	平成22年4月	生活栄養学						
兼任	講師	助薗美帆(36)	平成22年4月	口腔解剖学	兼任	講師	野田 彩(30)	平成22年9月	口腔解剖学	勤務先変更による就任辞退に伴う担当者変更(22)
兼任	講師	沖永敏則(32)	平成22年4月	口腔組織発生学	兼任	講師	緒方克守(28)	平成22年9月	口腔組織発生学	勤務先変更による就任辞退に伴う担当者変更(22)
兼任	講師	進 正史(32)	平成22年4月	口腔生理学	兼任	講師	福泉忠興(44)	平成22年9月	口腔生理学	勤務先変更による就任辞退に伴う担当者変更(22)
兼任	講師	田中みどり(40)	平成22年4月	口腔生化学						
兼任	講師	大河原 進(60)	平成22年4月	病態生理学						
兼任	講師	古森顕一(53)	平成22年4月	病態生理学						
兼任	講師	牛島正人(56)	平成22年4月	病態生理学						
兼任	講師	田宮貞宏(44)	平成22年4月	病態生理学						
兼任	講師	中野哲雄(58)	平成23年4月	病態生理学						

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	藤澤章二(59)	平成23年4月	病態生理学						
兼任	講師	田中文丸(41)	平成23年4月	口腔病理学 顎口腔外科学						
兼任	講師	小川峰太郎(48)	平成23年4月	感染症学						
兼任	講師	福泉忠興(44)	平成23年4月	薬理学						
兼任	講師	秦亮(35)	平成25年4月	国際保健論 国際保健活動論						
兼任	講師	有松徳樹(68)	平成23年4月	疫学						
兼任	講師	吉武博美(36)	平成23年4月	歯科麻酔学 発達歯科学(障害者)						
兼任	講師	反後雅博(48)	平成25年4月	歯科医療管理学						
兼任	講師	菊池健(58)	平成22年4月	看護学概論						
兼任	講師	藤原大樹(29)	平成23年4月	発育発達論						
兼任	講師	北川慶子(60)	平成25年4月	社会保障論 社会保障論						

(注)・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	2	2	2	10	0	4	2	3	2	11	0	
(3)	(1)	(3)	(2)	(9)	(0)	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: 1)

## (3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	村上 繁樹	平成22年度中、本人担当科目が無いため就任時期を調整した。(平成23年4月就任)
2	准教授	北田 勝浩	平成22年度中、本人担当科目が1科目しか無いため就任時期を調整した。(平成23年4月就任)

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

## (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

村上繁樹教授 : 平成22年度中は本人担当科目が無いため、履修上の支障はない。 北田勝浩准教授 : 平成22年度開講科目「口腔保健衛生学」は非常勤講師として開講するため支障はない。
---

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項  
に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を  
添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記  
入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### (1) 設置計画変更事項等

#### <看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科>

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
教員組織の編成 専任教員 教授 4名 准教授 2名 講師 2名 助教 1名 合計 9名	はり師きゅう師学校認定申請（文部科学省）において、専任教員の資格要件審査で4名が不可の判定となったため、届出教員を変更した。 また、当該学科で取得可能なアスレティックトレーナー（日体協）の開設科目担当の専任教員を追加した。 専任教員 教授 4名 准教授 3名 講師 2名 助教 2名 合計 11名

#### <看護福祉学部 口腔保健学科>

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
教員組織の編成 専任教員 教授 4名 准教授 2名 講師 2名 助教 2名 合計 10名	教職免許（養護）担当の専任教員を追加した。 専任教員 教授 4名 准教授 2名 講師 3名 助教 2名 合計 11名

- (注)・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### 実施体制

- a 委員会の設置状況  
全学的な取り組みとして、九州看護福祉大学自己点検・自己評価委員会の専門委員会として、FD専門委員会を設置（平成16年度）・・・専門委員会のため規程なし  
・専門委員会構成員：自己点検・自己評価委員会委員より各学科1名及び各学科選出教員1名
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
授業評価アンケート及び研修会の実施にあわせて、年に数回実施している。（委員のほぼ全員が出席）
- c 委員会の審議事項等  
・学生による授業評価アンケートの実施に関する事項  
・FD研修会の実施に関する事項

### 実施状況

- a 実施内容  
・学生による授業評価アンケートの実施  
・FD研修会の実施
- b 実施方法  
・学生による授業評価アンケート  
各学期の講義終了時にマークシートによるアンケートを開講中の全講義科目実施している。  
・FD研修会  
毎年様々なテーマを定め、外部講師を招いてFD研修会を実施している。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）  
・FD研修会（これまで参加人数は集計していないが80%程度の参加があった。）  
平成20年度 学生にとって魅力的な授業とは  
平成21年度 経験型実習教育の理念とケアリング・アイランド構想
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
授業評価アンケートの集計結果を各教員にフィードバックし、今後の授業改善に向けての取り組みを更に促進する。

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科は、既設の3学科（看護、社会福祉、リハビリテーション）が重点的に意図している二次予防、三次予防に対応する専門職業人の養成に加え、鍼灸スポーツ学、口腔保健学といった健康増進、疾病予防など主とした一次予防を専門とする職業人の養成を行うことで、一次予防から三次予防までのいわゆる予防医学を総合した学部を目指して開設した。

鍼灸スポーツ学科では、主要資格となるはり師きゅう師国家試験受験資格に加え、高等学校教諭一種免許状（保健体育）、アスレティックトレーナー受験資格、健康運動指導士受験資格の取得を掲げており、その認可の状況は次のとおりとなっている。

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| ・高等学校教諭一種免許（保健体育） | 認可         |
| ・アスレティックトレーナー     | 申請書提出済み    |
| ・健康運動指導士          | 平成22年度申請予定 |

さらに、一般患者に対する臨床実習の機会を確保し技術等の向上を図ることが必要であり、また地域住民へのサービスの提供を行うべく大学構内に附属の鍼灸臨床センターの開設を予定しており、現在開設に向け準備を進めているところである。

また口腔保健学科では、主要資格である歯科衛生士国家試験受験資格に加え、養護教諭一種免許状の取得が可能となっており、設置段階で目標としていた資格取得は全て達成できた。

平成22年度の入試状況については、主要資格である国家試験の受験資格の認可が遅れたことにより入試広報活動が大幅に遅れたにもかかわらず、鍼灸スポーツ学科では定員40名に対し入学者37名（志願者48名）、口腔保健学科では定員50名に対し入学者34名（志願者49名）が確保できた。また、高等学校の進路担当者からの反応は非常によく、次年度の志願者確保は十分期待できるものと考えられる。

以上、申請段階において予定教員の差替を余儀なくされたが、教育課程、施設設備などについては設置計画のとおり順調に進捗している。今後も学年進行に合わせて設置計画に基づいた教育課程の運営を履行すると共に、指導教員制（アドバイザー制）によるきめ細かい少人数教育（面談・履修指導など）の充実を図り、より一層の教育効果の向上を目指していく。

#### 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
  - ・平成21年5月公表
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ

#### 認証評価を受ける計画

本学は、平成20年度に(財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。認定期間は、平成20年4月1日から平成27年3月31日まで。

(注)・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報提供に関する事項

##### 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成 2 2 年 9 月 1 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.kyushu-ns.ac.jp/about/> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学 )」としてください。